

争

論

一九八九年六月、中国軍が民主化要求運動を武力で弾圧し、多数を殺傷した天安門事件から二十年。中国は未曾有の経済の高成長を達成したが、公正な社会を築くため民主化を求める庶民の声も根強い。果たして中国は民主化できるのか。

◆中国は民主化できるか◆

中国民主化の見通しは。一元的な政治では各レベルの意見をくみ上げられない。

「共産党の次期指導部の十年間の任期中、つまり二〇一二年までには抜本的な一歩を踏み出すだろう。農民や大衆の反乱という下からの革命ではなく、党のインシテチフによって、一党支配の現体制から民主主義的な政治体制に移行する『静かなる革命』が起きる」とその理由は。

「官僚腐敗や所得格差の拡大、社会的対立の先鋭化などの問題が深刻化するにつれ、現体制を改めようとする圧力が保革陣営から高まっており、共産党は政治改革に本気で取り組まなければならない」ところまできた。富裕層から中産階級、貧困層まで社会は既に多元

「静かな革命」起る

呉 軍華さん(日本総合研究所 主席 研究員)



オロギーの信仰の頂点から幻滅に至った文化大革命を経験し『知識青年』として農村に下放された世代。時代の流れを読みとり、理想を掲げ、一九八〇年、中国杭州市生まれ。復旦大学卒。東京大学大学院博士課程修了後、日本総研入社。上海在住。

「民主化すれば混乱かどうかは、やり方次第だ。どういうプロセスでソフトウェアをアップデートするかを考えると、時限爆弾の一部分を既に誘爆。多少リスクは減った。ナショナリズムから、チベット、ウイグルなどの少数民族問題も、民主化当初は解決が難しいだろう」

「環境問題は民主化、人権と相関関係がある。中国当局者は環境問題の重要性に気付いてはいるが、全中国が工事現場の状態だ。もう簡単に元に戻せないほど環境破壊はひどい。民主化しなければ、環境問題の本質的な解決はない。地球温暖化についても今のままですり抜け、人権や環境、ウイグル、チベットなど少数民族問題についても、きちんとものを言っていくべきだ。それは世界的、人類的な問題だ。中国民主化は日本の国益だ。アジア全体がそういう方向に開かれていく必要がある。中国から難民が押し寄せる、反日運動が激化するなどと懸念して、中国の独裁体制を支持するのは、低次元な議論だ」としてはすくなくナショナリ



中嶋 領雄さん(国際教養大学長)

リーダー不在、難しい

締め付けはさらに強化

普遍的な価値、共有を

中国の民主化は。中国にとって最も重要な問題は民主化だ。わたしもそれを希望するが、残念ながら実現は難しい。なぜならかつての趙紫陽氏(元中国共産党総書記)のようない民主化に前向きなリーダーが登場する可能性は小さいからだ。習近平、李克強、両氏ら次期指導部の中核となる人たちが自ら民主化に踏み切るとは考えにくい。一度権力を握ると手放さない。

天安門事件以来の民主状況は。「最高実力者、鄧小平氏や江沢民・前党総書記兼国家主席の下で、民主化運動の芽は徹底的に摘まれ、中国の民主改革はほとんどなされないうままだ。一方で軍や武装警察部隊など民主化を抑圧する暴力装置が非常に強くなった。密告制度もある。開明的な胡耀邦(元党総書記)に近い共産主義青年団出身の胡錦濤・党総書記兼国家主席が登場した際にもかなり期待したが、今の中国に民主化の兆しは見えない」

農村部で選挙も行われているが。「共産党のおせん立てでして民主化するのでは時期

あり、われわれが考える民主化や自由選挙とはまったく違つ。中国は官僚腐敗や貧富の差の拡大などの問題を抱え、それに不満を抱く農民らの暴動も増加している。今年天安門事件二十年、建国六十年などで体制を維持するため、さらに締め付けは強化されている」

中国は崩壊するか。「共産党体制の崩壊論が出ているが、そう簡単に崩壊しない。いろいろ問題を抱えながら世界に脅威をまき散らす。それが一番の問題だ。わたしも天安門事件後、あと何年かで崩壊して民主化するのでは時期

なかじま・みねお 一〇三六長野県生まれ。東京外大中国科卒、東大大学院修了。東京外大長を経て〇四年から現職。

「環境問題は民主化、人権と相関関係がある。中国当局者は環境問題の重要性に気付いてはいるが、全中国が工事現場の状態だ。もう簡単に元に戻せないほど環境破壊はひどい。民主化しなければ、環境問題の本質的な解決はない。地球温暖化についても今のままですり抜け、人権や環境、ウイグル、チベットなど少数民族問題についても、きちんとものを言っていくべきだ。それは世界的、人類的な問題だ。中国民主化は日本の国益だ。アジア全体がそういう方向に開かれていく必要がある。中国から難民が押し寄せる、反日運動が激化するなどと懸念して、中国の独裁体制を支持するのは、低次元な議論だ」としてはすくなくナショナリ

「民主化すれば混乱かどうかは、やり方次第だ。どういうプロセスでソフトウェアをアップデートするかを考えると、時限爆弾の一部分を既に誘爆。多少リスクは減った。ナショナリズムから、チベット、ウイグルなどの少数民族問題も、民主化当初は解決が難しいだろう」

「環境問題は民主化、人権と相関関係がある。中国当局者は環境問題の重要性に気付いてはいるが、全中国が工事現場の状態だ。もう簡単に元に戻せないほど環境破壊はひどい。民主化しなければ、環境問題の本質的な解決はない。地球温暖化についても今のままですり抜け、人権や環境、ウイグル、チベットなど少数民族問題についても、きちんとものを言っていくべきだ。それは世界的、人類的な問題だ。中国民主化は日本の国益だ。アジア全体がそういう方向に開かれていく必要がある。中国から難民が押し寄せる、反日運動が激化するなどと懸念して、中国の独裁体制を支持するのは、低次元な議論だ」としてはすくなくナショナリ

「民主化すれば混乱かどうかは、やり方次第だ。どういうプロセスでソフトウェアをアップデートするかを考えると、時限爆弾の一部分を既に誘爆。多少リスクは減った。ナショナリズムから、チベット、ウイグルなどの少数民族問題も、民主化当初は解決が難しいだろう」

「環境問題は民主化、人権と相関関係がある。中国当局者は環境問題の重要性に気付いてはいるが、全中国が工事現場の状態だ。もう簡単に元に戻せないほど環境破壊はひどい。民主化しなければ、環境問題の本質的な解決はない。地球温暖化についても今のままですり抜け、人権や環境、ウイグル、チベットなど少数民族問題についても、きちんとものを言っていくべきだ。それは世界的、人類的な問題だ。中国民主化は日本の国益だ。アジア全体がそういう方向に開かれていく必要がある。中国から難民が押し寄せる、反日運動が激化するなどと懸念して、中国の独裁体制を支持するのは、低次元な議論だ」としてはすくなくナショナリ

「民主化すれば混乱かどうかは、やり方次第だ。どういうプロセスでソフトウェアをアップデートするかを考えると、時限爆弾の一部分を既に誘爆。多少リスクは減った。ナショナリズムから、チベット、ウイグルなどの少数民族問題も、民主化当初は解決が難しいだろう」

「環境問題は民主化、人権と相関関係がある。中国当局者は環境問題の重要性に気付いてはいるが、全中国が工事現場の状態だ。もう簡単に元に戻せないほど環境破壊はひどい。民主化しなければ、環境問題の本質的な解決はない。地球温暖化についても今のままですり抜け、人権や環境、ウイグル、チベットなど少数民族問題についても、きちんとものを言っていくべきだ。それは世界的、人類的な問題だ。中国民主化は日本の国益だ。アジア全体がそういう方向に開かれていく必要がある。中国から難民が押し寄せる、反日運動が激化するなどと懸念して、中国の独裁体制を支持するのは、低次元な議論だ」としてはすくなくナショナリ

「民主化すれば混乱かどうかは、やり方次第だ。どういうプロセスでソフトウェアをアップデートするかを考えると、時限爆弾の一部分を既に誘爆。多少リスクは減った。ナショナリズムから、チベット、ウイグルなどの少数民族問題も、民主化当初は解決が難しいだろう」

「環境問題は民主化、人権と相関関係がある。中国当局者は環境問題の重要性に気付いてはいるが、全中国が工事現場の状態だ。もう簡単に元に戻せないほど環境破壊はひどい。民主化しなければ、環境問題の本質的な解決はない。地球温暖化についても今のままですり抜け、人権や環境、ウイグル、チベットなど少数民族問題についても、きちんとものを言っていくべきだ。それは世界的、人類的な問題だ。中国民主化は日本の国益だ。アジア全体がそういう方向に開かれていく必要がある。中国から難民が押し寄せる、反日運動が激化するなどと懸念して、中国の独裁体制を支持するのは、低次元な議論だ」としてはすくなくナショナリ

党が主導し 政治改革へ

「民主化すれば混乱かどうかは、やり方次第だ。どういうプロセスでソフトウェアをアップデートするかを考えると、時限爆弾の一部分を既に誘爆。多少リスクは減った。ナショナリズムから、チベット、ウイグルなどの少数民族問題も、民主化当初は解決が難しいだろう」

「環境問題は民主化、人権と相関関係がある。中国当局者は環境問題の重要性に気付いてはいるが、全中国が工事現場の状態だ。もう簡単に元に戻せないほど環境破壊はひどい。民主化しなければ、環境問題の本質的な解決はない。地球温暖化についても今のままですり抜け、人権や環境、ウイグル、チベットなど少数民族問題についても、きちんとものを言っていくべきだ。それは世界的、人類的な問題だ。中国民主化は日本の国益だ。アジア全体がそういう方向に開かれていく必要がある。中国から難民が押し寄せる、反日運動が激化するなどと懸念して、中国の独裁体制を支持するのは、低次元な議論だ」としてはすくなくナショナリ

◇ 第1日曜日に掲載 ◇